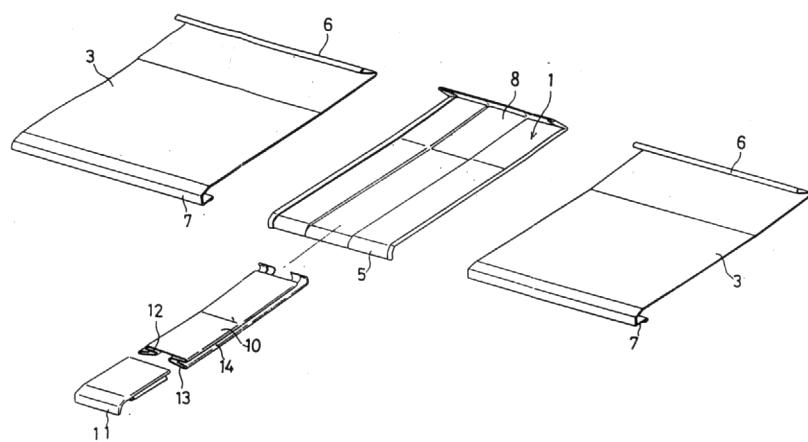
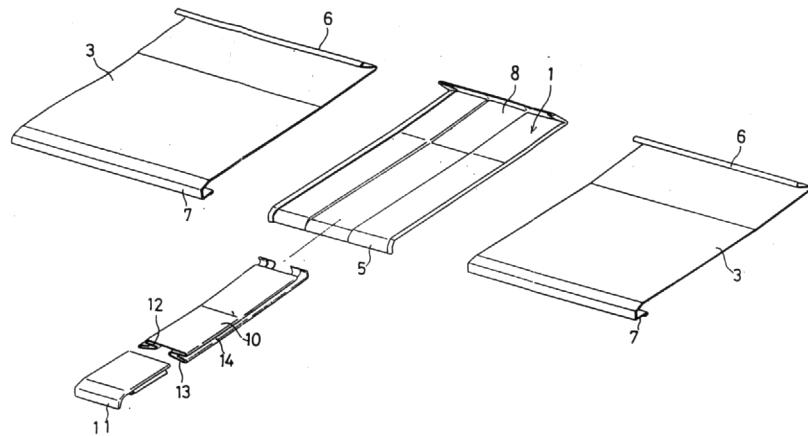


(1)号図面

第1図

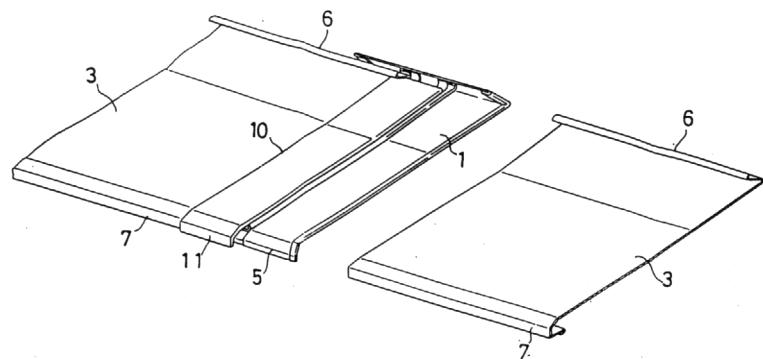


第1図

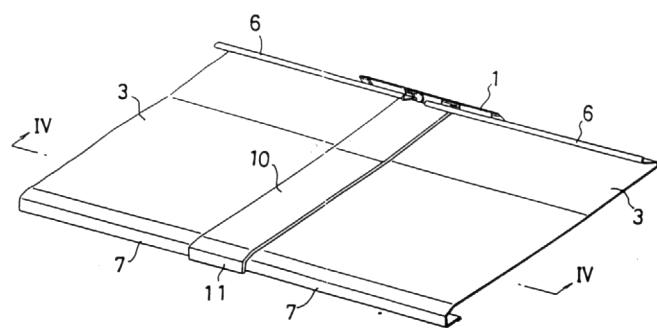


(1)号図面

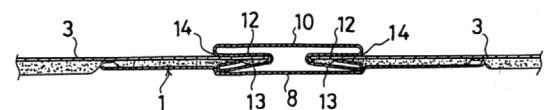
第2図



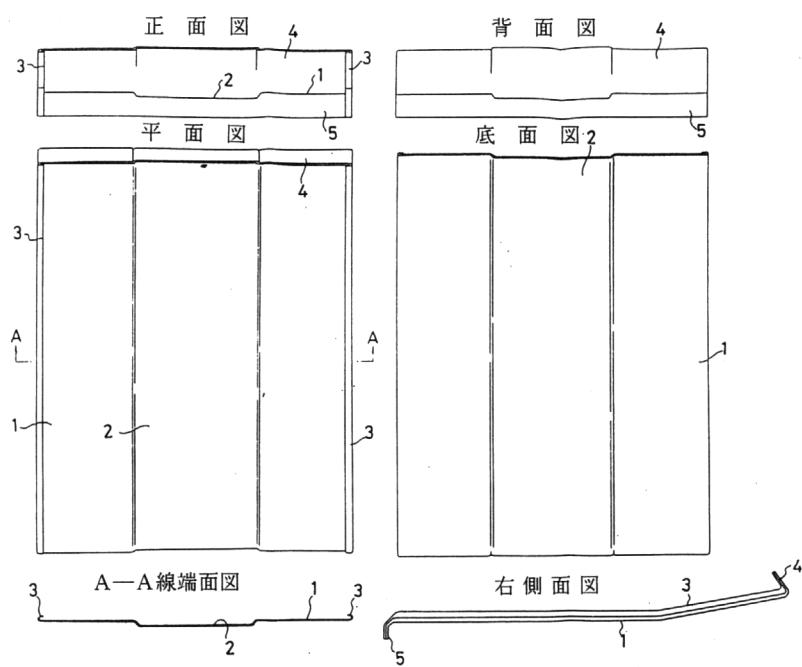
第3図



第4図



(口)号図面



② 日本国特許庁 (JP) ③実用新案出願公告

④ 実用新案公報 (Y2) 昭62-37864

⑤ Int. Cl.
E 04 D 3/366

識別記号 厅内登録番号
101 E-7238-2E

⑥ ⑦ 公告 昭和62年(1987)9月26日

(全4頁)

⑧ 考案の名称 面構造材の連結装置

前記審査に係属中

⑨ 実開 昭60-29657

⑩ 公開 昭60-162619

⑪ 出願 昭55(1980)8月11日

⑫ 昭60(1985)10月29日

⑬ 実開 昭55-112603の分割

⑭ 考案者 船木 元 且 藤沢市下土棚430番地

⑮ 出願人 船木 元 且 藤沢市下土棚430番地

⑯ 代理人 弁理士 福田 信行 外2名

審査官 岡 千代子

参考文献 実開 昭49-97920 (JP, U) 実開 昭57-28024 (JP, U)

実開 昭54-106615 (JP, U)

1

2

⑰ 実用新案登録請求の範囲

左右に並ぶ面構造材の難目部分の裏面に捨板を設置し、該難目部分の表面にカバーを被覆するようにした面構造材の連結装置において、上記面構造材には上縁に係合部を、下縁に係止部を設け、捨板には表面に平坦状部分を形成するとともに下縁には面構造材の係止部内に嵌入する嵌入部を設け、カバーには左右側縁を裏面側に重合するよう折り返し状にした折込片と、該折込片の先端から更に裏面側に折り返して上記折込片とはほぼ平行にした折返片とにより横方向に開口する差込部を左右に形成するとともに下縁には面構造材の係止部の外面に被覆する嵌合部を設け、面構造材の難目部分の裏面に捨板を添設してカバーを被覆した状態で捨板の嵌入部が面構造材の係止部内に嵌入され、カバーの各差込部内には各面構造材の側縁が挿入されてカバーの嵌合部が面構造材の係止部の外面に被覆され、カバーの折返片が捨板の平坦状部分に密接状になっている面構造材の連結装置。

考案の詳細な説明

本考案は、面構造材における連結装置、特に建築物や構築物の屋根或いは壁を構成する面構造材で構成する場合において、左右に並ぶ面構造材の難目部分を簡便に施工することができ、しかも難目部分から染み込む雨水を確実に下側に位

置する面構造材の表面に挿出するようにした面構造材の連結装置に関するものである。

横葺きの面構造材の難目部分を連結する捨板としては、例えば実開昭54-106615号公報に記載のものがある。

この考案は面構造材の側縁を上方に折り返し、左右に並ぶ面構造材の折返片にカバーを被覆したものである。したがつてカバーは面構造材の側縁に沿い移動しやすいので外れることがあるし、毛細管現象により難目部分から染み込む雨水が捨板の表面を伝わって下縁から天井裏に染み出ることがある。又、建築現場で面構造材の折返片を寸法精度よく作成しなければカバーを被覆できないので、作業効率が著しく低下する。

本考案は上記に鑑み提案されたもので、左右に並ぶ面構造材の難目部分の裏面に捨板を添設し、該難目部分の表面にカバーを被覆するようにした面構造材の連結装置において、上記面構造材には上縁に係合部を、下縁に係止部を設け、捨板には

20 表面に平坦状部分を形成するとともに下縁には面構造材の係止部内に嵌入する嵌入部を設け、カバーには左右側縁を裏面側に重合するよう折り返し状にした折込片と、該折込片の先端から更に裏面側に折り返して上記折込片とはほぼ平行にした折返片とにより横方向に開口する差込部を左右に形成するとともに下縁には面構造材の係止部の外面

に被着する嵌合部を設け、面構造材の嵌合部分の裏面に括板を差設してカバーを被着した状態で括板の嵌入部が面構造材の係止部内に嵌入され、カバーの各差込部内には各面構造材の側縁が挿入されてカバーの嵌合部が面構造材の係止部の外面に被着され、カバーの折返片が括板の平坦状部分に密接状になつてることを特徴とするものである。

以下に本考案を図面の実施例について説明すると、建築物の屋根或いは外壁を構成する場合、例えば外壁の場合を例にとると、括板1は一般に第1図に示すように支持材2の外側に差設される金属製の面構造材3…のうち、同じ高さに差設される開り合う左右一对の面構造材3、3の嵌合部分の裏面に使用されるものである。この括板1は第2図に示すように上縁には表面に屈曲した屈曲片4を、下縁には裏面に屈曲した嵌入部5を有し、屈曲部4には面構造材3の上縁に設けた係合部6が内側から、嵌入部5には面構造材3の下縁に設けた係止部7が外側から嵌合するようにしてある。そして、括板1の裏面中央には平坦状部分8を横方向に有し、該平坦状部分8の左右側部に水返部9…を形成する。

一方、括板1の表面にあてがうカバー10は例えば一枚の金属板を折り曲げ成形するのがよい。このカバー10は少なくとも下縁に裏面に折り返した嵌合部11を形成し、面構造材3の下縁の係止部7が内部に嵌入するようにしてある。場合によつてはカバー10の上縁にも裏面に折り返し、面構造材3の上縁係合部6の内側に嵌合する嵌合部を設けることも可能である。

そして、カバー10の裏面には、左右の側縁を折り返し状にして重合するようにした折込片12を設け、更に各折込片12の先端から裏面側に折り返した折返片13を形成し、上記折込片12と折返片13により開口する差込部14を左右に形成する。なお、この差込部14の奥端にはコーキング材15を詰め込んでよい。

上記した構成の括板1、カバー10を利用して左右に並ぶ面構造材3、3の嵌合部分を連結するには、各面構造材3、3をカバー10の裏面に沿つてスライドさせ、面構造材3の側縁をカバー10の各差込部14に挿入するとともに、カバーの嵌合部11を面構造材3の係止部7の外面に被着

する。そして外壁や屋根の下地部分と面構造材3の嵌合部分との間に括板1を介在させ、括板1の嵌入部5を面構造材3の係止部7内に嵌入する。

したがつて、肉面構造材3、3の嵌合部分は裏面が括板1により、表面がカバー10により波われ、しかもカバー10の両折返部13が括板1の表面に載置している。

なお、上記した連結手段は一例で、カバーの差込部14に各面構造材3の側縁が挿入され、面構造材3の係止部7内に括板1の嵌入部5が嵌入され、また嵌入部5の外面にカバー10の嵌合部11が被着されといればどのような方法によつてもよい。

以上要するに本考案によればカバーは、下縁に設けた嵌合部が面構造材の下縁に形成した係止部の外面に被着されているし、差込部に面構造材の側縁が挿入されているので強固に支持され、基盤面に接したり長時間延滞しても外れたり脱むことがない。又、カバーは折込片と折返片とにより差込部を構成し、折返片が折込片とは平行であるから、差込部に挿入される面構造材の側縁が安定して支えられて差込部から外れることがないばかりでなく、カバーも面構造材から外れない。そして、雨水が面構造材の表面を伝わってカバーの内側に染み込んでも、カバーの差込部内や折返片を汚れ出ことになる。しかも、カバーの折返片と括板の平坦状部分とが密接状になつてるので、施工完成状態においてカバーが括板を確実に支持することができて相互の位置にずれが生じない。

したがつてどのような状態で雨水が面構造材の嵌合部分に入り込んでも確実に下側の面構造材の表面に流れ出ことになつて天井裏に染み出ることがなく、著しく雨仕舞が良好である。

更に本考案によればビスや釘を使用しないし、カバーを面構造材の側縁に挿入するとともに括板を嵌合部分の裏面にあてがうだけで施工できるので作業能率が著しく良好で、広い面積の外壁や屋根であつても短期間で作業できるなど、実用的価値が極めて高いものである。

10 図面の簡単な説明

第1図は面構造材を括板を用いて連結した建築物の外壁を示す概略正面図、第2図は面構造材の連結装置の一例を示す分解斜視図、第3図は向上的連結状態を示す拡大断面図、第4図は第3図

(3)

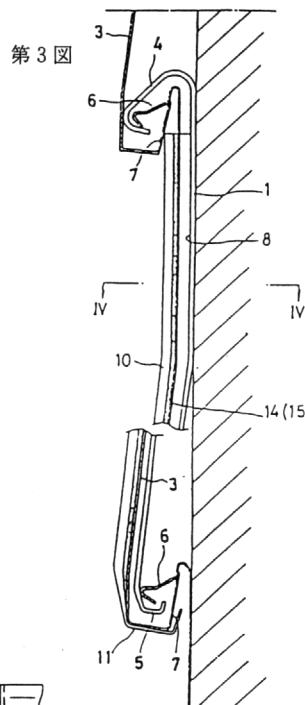
実公 昭 62-37864

5

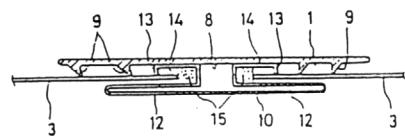
6

IV-IV線の断面図である。

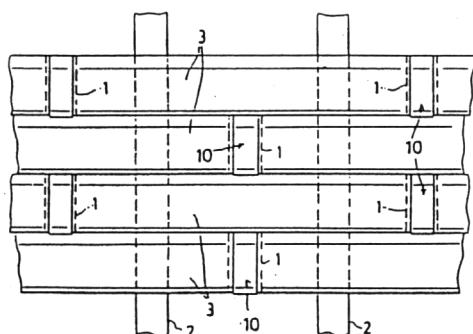
1……捨板、3……面構造材、5……嵌入部、
 6……係合部、7……係止部、8……平坦状部、
 分、9……水返部、10……カバー、11……嵌合部、12……折込片、13……折返片、14……差込部、
 15……差込片。



第4図

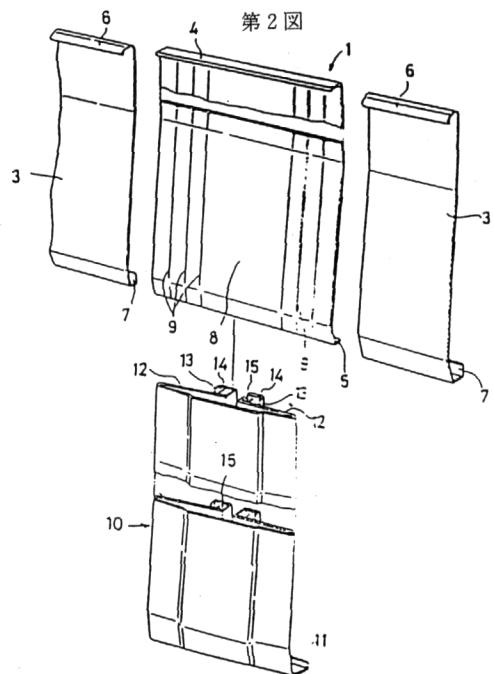


第1図



(4)

実公 昭 62-37864



日本国特許庁

昭和63年(1988)4月14日発行 意匠公報(S)

L 4-2191

729822

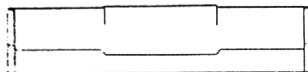
意願 昭60-8889

出願 昭60(1985)3月8日

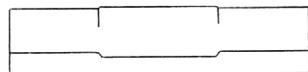
登録 昭62(1987)12月9日

創作者 船木元且
 意匠権者 松木商事有限会社
 東京都中央区八丁堀1-7-2 (茅場町第2長岡ビル)
 神奈川県藤沢市下土棚430番地
 代理人 弁理士 福田信行
 外2名
 審査官 吉山保祐
 神奈川県藤沢市下土棚430番地
 意匠に係る物品 建築用板材の連結具
 説明 左側面図は右側面図と対称にあらわれる。

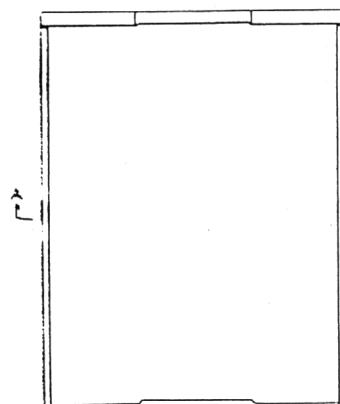
正面図



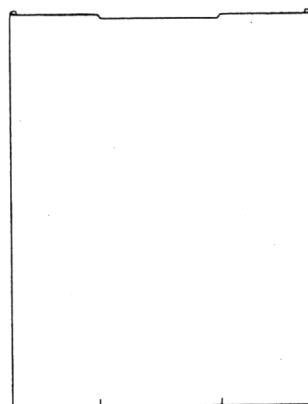
背面図



平面図



底面図



A-A線端面図

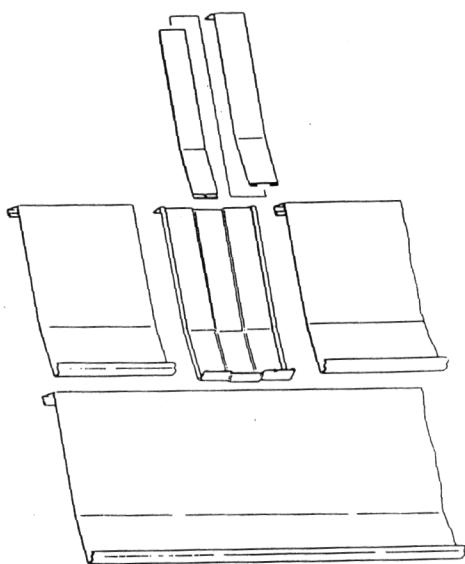


右側面図



(2)

使用状態の参考図(1)



使用状態の参考図(2)

